



オレンジリボンキャンペーンとは

オレンジリボンには、「子ども虐待防止」というメッセージが込められています。オレンジリボンキャンペーンとは、11月の児童虐待防止推進月間を中心に、すべての子どもが健やかに育つように、行政機関、企業、地域が一体となって、児童虐待防止の啓発に取り組み、子育てをしている親や子どもたちを始め、多くの人たちに、まわりの子どもに関心をもっていただき、子どもへの虐待をなくしていく輪を広げていく取組です。

オレンジリボン運動とは

2004年9月、栃木県小山市で2人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げられて亡くなる事件がおきました。その事件をきっかけに小山市の「カンガルーOYAMA」が、二度とこのような事件が起こらないようにと願いを込めて、2005年にオレンジリボン運動（キャンペーン）を始め、2006年からは「児童虐待防止全国ネットワーク」が総合窓口を担い、全国的にキャンペーンなど活動を広げています。